

# 第 44 回日本土壌動物学会大会プログラム

会 期 2022 年 6 月 25 日（土）～26 日（日）  
会 場 ふじのくに地球環境史ミュージアム（〒422-8017 静岡県駿河区大谷 5762）

## 6 月 25 日（土）

10:00	受付開始	[2 階 講堂]
11:00	開会挨拶（大会委員長）	[2 階 講堂]
11:05～12:05	口頭発表 1（4 題）	
12:05～13:00	昼休み（昼食） （大会参加者は期間中無料でミュージアム内を見学いただけます。）	
13:00～14:00	口頭発表 2（4 題）	[2 階 講堂]
14:00～14:45	口頭発表 3（3 題）	[2 階 講堂]
15:00～16:00	ポスター発表 （奇数番号 コアタイム（11 題））	[3 階 通路スペース]
16:10～17:00	総会	[2 階 講堂]
17:00～17:30	受賞記念講演	[2 階 講堂]

## 6 月 26 日（日）

9:00～10:00	ポスター発表 （偶数番号 コアタイム（10 題））	[3 階 通路スペース]
10:00～12:00	シンポジウム	[2 階 講堂]
12:00～12:05	閉会・写真撮影	
12:05～13:00	昼休み（昼食）	
13:00～15:00	トビムシ研究会 第 6 回 第 22 回ミミズ研究談話会総会	[3 階 視聴覚研究室] [3 階 実習室]

**【6月25日(土)】**

**11:00~11:05 開会あいさつ** 会長 金子信博

**11:05~12:05 口頭発表1 (4題)**

11:05~11:20 0-01 DNA メタバーコーディング法と形態観察法による屋久島スギ天然林の土壤線虫群集の比較

○北上雄大・松田陽介(三重大・生物資源学研究所)

11:20~11:35 0-02 日本産ゲジ目 Scutigeraomorpha に関する分子系統地理

○野田聖(信州大・理)・竹中將起(信州大・理)・東城幸治(信州大・理)

11:35~11:50 0-03 世界で3例目の半水棲オオムカデ、南西諸島から日本で143年ぶりに記載された美麗かつ国内最大種

塚本将(東京都立大院・生命科学)・蛭田眞平(昭和大・富士山麓研)・  
江口克之(東京都立大院・生命科学)・廖治榮(国立台湾大)・  
○島野智之(法政大・自然科学セ)

11:50~12:05 0-04 ヤンバルトサカヤスデのミトコンドリア DNA 解析に基づく国内分布

○青山奈都子(静岡県中部健康福祉センター・麻布大)・  
神谷貴文(静岡県環境衛生科学研究所)・  
江口克之(東京都立大)・村上賢(麻布大)

※ 講演時間は一題15分(12分講演, 3分質疑応答)です。

※ PowerPoint を使用した形式で行います。ファイルを USB メモリに記録し受付にお持ちください。事務局では Windows10 の PC を用意いたします。

※ Mac での発表をご希望される方はご自分の PC と接続用のアダプタをご持参ください。

12:05~13:00 昼休み(昼食)

※ミュージアム周辺に食事をとることができる場所はありません。会場、休憩室で食事ができるようにしますので、各自昼食のご準備をお願いします。

**13:00~14:00 口頭発表2 (4題)**

13:00~13:15 0-05 土壌動物を守る「保全農法」

金子信博(福島大・食農学類)

13:15~13:30 0-06 香川県における生活型が異なる大型貧毛類2種の糞生成速度の比較

○原直誉(香川大・農)・南谷幸雄(栃木県立博物館)・豊田 鮎(香川大・農)

13:30～13:45 0-07 マイクロコズム実験において有機圃場のヒメミミズが土壌中の窒素無機化に及ぼす影響

○加藤理紗子・豊田剛己（東京農工大・生物システム応用化学府）

13:45～14:00 0-08 ミツマタカギカニムシ付着菌が産生する抗菌活性物質

○清水伸泰・太田ことり・田中優子・日高春風・森山太介・高原千尋（京都先端科学大・バイオ環境）

### 14:00～14:45 口頭発表3（3題）

14:00～14:15 0-09 棚田畦畔における地表徘徊性動物の出現パターン

○岸本圭子（龍谷大・先端理工）・綿引大祐（新潟大・佐渡自然共生セ）・笠井優子（佐渡市理科教育セ）

14:15～14:30 0-10 筑波山神社林における広葉樹植樹後の経過年数と土壌動物相

○橋本みのり（大東文化大）・石村章子（NPO 法人 地球の緑を育てる会）

14:30～14:45 0-11 ヒノキ人工林と落葉広葉樹林における土壌ブロックの交換がササラダニ群集に与える効果

○長谷川元洋（同志社大）・岡部貴美子（森林総研）・稲垣善之（森林総研・四国支所）

### 15:00～16:00 ポスター発表

[3階 通路スペース]

【25日（土）：奇数番号 コアタイム（11題）】

P-01	低労力で効率的なイトミミズ調査法の開発	金田哲（農研機構・西農研）
P-02	愛知県産アズマフトミミズ属 <i>Amyntas</i> 未記載種の形態および分子系統解析	伊木思海（中部大院・応用生物学研究科）・南谷幸雄（栃木県立博物館）・大場裕一（中部大・応用生物学部）
P-03	ヨツヤミミズの正体	○伊藤雅道（駿河台大・経済経営学部）・柴田康平（神奈川県鎌倉市）・池田紘士（弘前大・農学生命科学部）・南谷幸雄（栃木県立博物館）
P-04	ミミズのフン団粒が土壌 CO <sub>2</sub> 放出に与える影響—団粒存在割合による放出変化—	○田中草太（秋田県立大）・永野博彦（新潟大）・安藤麻里子（日本原子力研究開発機構）・高階史章（秋田県立大）・佐藤孝（秋田県立大）・小嵐淳（日本原子力研究開発機構）

P-05	ヤマトアカフサイボトビムシ( <i>Crossodontina nipponica</i> )の再記載	○大平敦子(横浜国立大院・環境情報学府/多摩六都科学館)・中森泰三(横浜国立大院・環境情報研究院)
P-06	フクロムラサキトビムシ属( <i>Ceratophysella</i> )の1未記載種と日本産種の検索表	中森泰三(横浜国立大院・環境情報研究院)
P-07	南西諸島のトビムシ類のDNAバーコーディング ートゲトビムシ科 Tomoceridae を中心に	○高江洲鈴奈・齋藤星耕(沖縄国際大・経済学部)
P-08	和歌山県のヤンバルトサカヤスデ侵入地における在来ヤスデ個体数	小池俊瑛・松井啓介・尾崎一天・葛西弘・○澤島拓夫(近畿大・農)
P-09	栃木県で最近発見された, 外来種の土壤動物	南谷幸雄(栃木県立博物館)
P-10	国際標準化機構(ISO)における生物学的土壌評価手法の標準化に関する活動紹介	神谷貴文(静岡県環境衛生科学研究所)
P-11	フナムシ( <i>Ligia exotica</i> )における着生菌フナムシヤドリ( <i>Asellaria ligiae</i> )感染率の季節変化	○草野ゆうか(横浜国立大院・環境情報学府/福島県いわき海浜自然の家)・中森泰三(横浜国立大院・環境情報研究院)
P-12	海岸に棲息するトゲツチカニムシについて	佐藤英文
P-13	カタツムリで見られる武器形質の退化に関する研究	木村一貴(東北大・東北アジア研究センター)
P-14	永年の栽培での植物寄生性線虫の抑制に土壤動物は寄与するか?	岡田浩明(農研機構・植物防疫研究部門)
P-15	腐朽段階の異なる落枝と土壌層および落葉層に生息するトビムシ群集の違い	○葛西弘・澤島拓夫(近畿大院・農)
P-16	山道ガリター堆積量と大型土壤動物群集に与える影響	土屋駿介・○豊田 鮎(香川大・農)
P-17	照葉樹林でのイノシシの攪乱がトビムシ・ダニ類の群集構造や食性に与える影響	○大原秀斗(同志社大)・原口岳(大阪環農水研・多様性センター)・豊田鮎(香川大)・佐藤重穂(森林総研・四国支所)・大園享司(同志社大)・長谷川元洋(同志社大)
P-18	密度の異なるカラマツ人工林での地表徘徊性甲虫類の調査について	○前原 忠・石橋 整司(東京大院・農学生命科学研究科)
P-19	北海道で新たに確認したムカデ類およびヤスデ類	○開澤菜月・山内健生(帯広畜産大・昆虫学研究室)・栗原良輔(熊本大院・自然科学教育部)・脇村涼太郎(東海大・生物学部)
P-20	発光する山口県産イボトビムシの発見	○加藤巧己(名古屋大・理学研究科)・川野敬介(豊田ホテルの里ミュージアム)・別所-上原学(名古屋大・高等研究院、名古屋大・理学研究科)

**【高校生発表枠】**

P-21	学校構内の表土に生息する土壤生物	○神谷優季・○遠藤新平・○細澤直起 (学校法人静岡理科大学静岡北高等学校)
------	------------------	--

- ※ ポスターの貼りだしは 25 日（土）10:30 から可能です。奇数番号のポスターは、25 日（土）15:00 までに、偶数番号のポスターは、26 日（日）9:00 までに貼り終えてください。
- ※ 縦 164cm, 横 81cm のパネル（縦長）を用意いたします。
- ※ 画鋸は事務局で用意いたします。
- ※ 26 日（日）の 13:00 までに回収してください。残されたポスターについては事務局で破棄します。

**16:10~17:00 総会**

**17:00~17:30 受賞記念講演**

2022 年度研究奨励賞受賞 吉村 正志（沖縄科学技術大学院大学）

**【6月26日（日）】**

**9:00～10:00 ポスター発表** [3階 通路スペース]

【26日（日）：偶数番号 コアタイム（10題）】

**10:00～12:00 シンポジウム**

**『生物地理・系統地理の現在と未来』**

生物地理学は古くて新しい話題です。近年は遺伝子解析による分子系統地理学の発展により、新たな地平が見えるようになってきました。

この世界の今と展望を、会員外の講師も招き、共有できればと思います。

**S-01 趣旨説明・分布情報収集の最新状況**

岸本年郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム）

**S-02 植物の生物地理・系統地理 -海浜植物を中心に-**

高山浩司（京大・院・理）

**S-03 魅力満載！水生昆虫の生物系統地理**

竹中蔭起（信州大・理・生物）

**S-04 日本におけるワラジムシ亜目の系統地理学的研究の現状**

唐澤重考（鳥取大・農）

**12:00 閉会挨拶**（大会委員長）・**記念撮影**

**13:00～15:00 トビムシ研究会 第6回**

**第22回ミミズ研究談話会総会**

## トビムシ研究会 第6回

[3階 視聴覚研究室]

昨年(2021年)、国際土壌動物学会議と国際無翅昆虫学会が開催されました。そこで、今回はそれぞれの学会に参加された皆さんにより、発表された内容を解説していただきます。

講師：

イントロダクション

長谷川元洋 (同志社大学)

生態分野の研究について

藤井佐織 (森林総合研究所)

分類分野の研究について

大平敦子 (横浜国立大学大学院/多摩六都科学館)

## 第22回ミミズ研究談話会総会

[3階 実習室]

申込は不要で談話会会員以外の方も参加できますので、ご興味がある方は是非ご参加ください。

講演：

同位体比を用いた農地に優占するミミズの生活型の推定

金田 哲 (農研機構西農研)、兵藤不二夫 (岡山大学環境生命科学学域)

池田紘士 (弘前大学農学生命科学科)

イソミミズ *Pontodrilus litoralis* の生息環境と分布特性の解明

原 直誉 (京都大学大学院理学研究科)

日本産フトミミズ科の属分類体系の検討および最近の知見

伊藤雅道 (駿河台大学経済経営学部)